

湖西大学への交換留学 10月

中間考查

10月20日からは中間考查の期間に入りました。韓国語の授業は3科目受講していましたが、そのうち2科目が筆記試験で、もう1科目は教科書内容のチェックのみでした。筆記試験の1つはオープンブック形式で、出題範囲も事前に知らされていたため、比較的取り組みやすい内容でした。もう1つの試験も論述問題のテーマが事前に提示され、教科書内容をしっかり理解していれば十分対応できるものでした。準備を重ねた成果を発揮でき、良い結果につながったと思います。

また、「文化企画入門」の授業には試験がなく、「マーケティング」の授業ではグループ発表がありました。グループ内で意見をまとめるのは簡単ではありませんでしたが、韓国人学生とのディスカッションを通して多様な考え方を学ぶことができました。さらに「舞台分析と演出」の授業では、自分が選んだミュージカルを観賞し、内容を分析して評論レポートを発表しました。どの課題も大変でしたが、やり遂げたことで達成感を得ることができました。

日常生活

10月の後半に入ると、韓国では一気に気温が下がり、朝晩はかなり寒くなりまし

た。それまで習慣のように行っていた友人とのランニングも、寒さのためにほとんど行かなくなりました。

部屋の暖房はまだ使用していませんが、韓国の住宅にはほとんど「オンドル」と呼ばれる床暖房が備わっており、これが非常に快適です。床がじんわりと温かく、昼寝をするときもとても心地よく感じます。韓国の大冬の生活文化を体感できる貴重な経験になっています。

バディプログラム

10月はバディプログラムの活動が2回ありました。1回目の活動では、近くの温泉に行きました。前期にも一度訪れた場所でしたが、久しぶりにお湯に浸かって疲れが取れ、とてもリラックスできました。温泉の後には、近くの市場を散策し、ホットクという甘いおやつを食べました。市場では地元の人たちの活気ある雰囲気を感じることができ、韓国の日常生活により深く触ることができました。2回目は学校の近くにあるお店でタッカルビを食べました。店員さんが日本に関心があり仲良くなりました。どの活動も、韓国人学生との交流を通して文化の違いを学ぶ良い機会になり、留学生の楽しみの一つになっています。



